

事前質問回答表

項目	質問	回答
温室効果ガス・エネルギー	「総合的な観点からトップクラス的环境配慮型商業施設を実現していきたいと考えています。」とは具体的あるいは他の施設と比較してトップクラスであることを示してください。	エネルギーについては、断熱性能の向上（Low-E複層ガラス等の採用）、屋根面の高反射化、自然採光システム（ハイサイドライト等の採用）、太陽光発電、高効率・省エネルギー型機器の採用、雨水利用等を実施します。 また本事業では、交通混雑・交通安全対策や緑化、ヒートアイランド対策、エリア一括受電システムの導入などの積極的な環境取組や地域貢献などを実施し、「大阪府建築物環境配慮評価システム」において、商業施設ではトップクラスとなるCASBEE「A」ランクを達成するべく努力を行ってまいります。（別紙1）
	エネルギーの削減対策としてナイトパーjuryやパッシブデザインの活用を検討してください。	施設B～Gについて、オープンモール形式を取り入れており、空調機器による環境負荷の低減を図っております。
	空調機器において地中熱ヒートポンプの活用を検討してください。	ご指摘のとおり、地中熱ヒートポンプの導入は、CO ₂ 削減効果および省エネ効果が期待できます。 しかし、国内ではまだ導入実績が少ないこと、本施設規模に対応するには相当大型な設備の導入が必要であり、掘削・設置コストが大きくなることなどから、本事業では導入しないこととしました。 なお、本事業では、高効率の空調機器を採用することを前提としており、可能な限り、CO ₂ 削減および省エネに取り組んでいきます。
	太陽熱パネルの利用を検討してください。	今後、実施設計の段階で検討していきます。
廃棄物等	施設の供用による廃棄物発生量について、類似施設の実績を用いて、算出してください。	他施設の事例から、廃棄物発生量を算出しました。（別紙2）
	ゴミ減量について具体的に示してください。	本事業では、テナントと共同して廃棄物量の削減を図れる従量課金システムを導入する予定です。 システム導入前後のららぽーと甲子園の実績をみると、システム導入後の廃棄物量（売上補正あり）は、2年間で10%の削減実績があります。（別紙3）

項目	質問	回答
大気汚染	P.248からの工事の実施に伴う影響の予測・評価で、窒素酸化物濃度は吹田市の目標値を超えています。排出量表12.3-15では、着工後9、10、11で3500m ³ N/月ぐらいの排出量です。p.267の評価結果では、3つの対策が挙げられていますが、更に工事の平準化が可能かどうかを検討してください。	今後、実施設計において工事スケジュールが明確になった段階で、更なる工事の平準化が可能かどうか検討します。 着工後9、10、11ヶ月目は、建築杭工事・掘削工事期間として工事ピーク月になっていますが、可能な限り、工事の平準化や構工法の見直しによる工事量縮減を検討していきます。
	P.294からの施設の使用に伴う影響の予測・評価で、窒素酸化物濃度は吹田市の目標値を超えています。排出量表12.3-54では、設備機器からの排出量が車両からの排出量を大きく上回っています。P.306の評価結果では、車両に対する対策が3つ挙げられていますが、設備機器に対する対策は1つのみです。設備機器に対して、積極的な対策について、検討をしてください。	設備機器（GHP）の選定にあたっては、極力、低NO _x 型の機器を選定し、窒素酸化物排出量の低減を図ります。
	供用後の事後調査の実施について実施しないと記載しているが、自動車から排出されるばい煙の影響等から事後調査を検討してください。	自動車排ガスから排出されるばい煙の影響を鑑み、事後調査を実施します。 なお、大気汚染物質濃度は、主要道路の走行車両台数をチェックすることにより把握できるものと考えており、現地測定は行いません。
悪臭	飲食店からの臭気対策として、脱臭設備の設置等対策を検討してください。また、アクアミュージアムについては、水生生物の死骸等から臭気が発生するおそれがあるため、臭気対策を検討してください。	今後、実施設計の段階で検討していきます。
ヒートアイランド現象	ヒートアイランド現象緩和のため、以下の対策を検討してください。 ・平面駐車場の対策の実施。 ・立体駐車場の屋上階の対策の実施。 ・施設内の道路について対策（高反射塗料・透水性・保水性）の実施。 ・空調機器の室外機の水噴霧及び水冷式化の実施 ・噴水などを利用した対策の実施 ・通路などに日よけの設置 ・ドライ型ミストの設置	今後、実施設計の段階で検討していきます。 なお、日よけの設置については、エントランスゾーンに面する施設別棟に、日除け効果のある庇を設置します。
騒音	荷捌きの場所と時間を教えてください。時間は営業時間内に限られているのですか。	荷捌きの場所は別紙4のとおりです。時間帯は、基本的に営業時間内を想定していますが、現在調整中です。（10月中旬頃を目処に） （別紙4）
	工事中の騒音対策として防音パネルや防音シート等の設置は行わないのですか。	建設地の周囲には、仮囲い鋼板を設置しますが、必要に応じて防音パネルや防音シート等の設置を検討します。

項目	質問	回答
低周波	低周波音については、事後評価の対象となっていませんが、苦情など問題があれば、誠実に対応してください。	苦情など問題があれば、誠実に対応します。
緑化	アラカシ、シラカシなどの潜在自然植生構成種の植栽を計画していますが、必ずしもそれにこだわる必要はありません。むしろ、アヤマキ、コナラ、エノキ、ムクノキ、アキニシなどの在来二次林主要構成種の方が夏は日陰になり、冬は日当たりが良くなるため適していると思われます。	植栽樹種については、潜在自然植生構成種を考慮し、かつ建物を常緑広葉樹で囲むことにより敷地外からの景観に配慮する考えでおりますが、四季の移りかわりも考慮し、落葉樹の採用についても、今後、実施設計の段階で検討していきます。
	クスノキ、ソメイヨシノ、メタセコイア、ケヤキ等の大径木を移植・活用することが文化的な継承を図ることになっていくなっていますが、これらはエキスポ当時植栽されたものであって、在来のものではないため、文化的な継承という意味がよく分かりません。	ご指摘のとおり、事業計画地内に残存する樹木は植栽されたものであり、本事業においては、基本的には潜在自然植生構成種による植栽を中心に考えております。しかし、植栽から40年以上経過した現在、事業計画地及びその周辺の植生は、これらの植栽林がまとまった緑地を形成し、地域の自然環境の中核をなしているといえます。そのため、本事業では、これらの樹木についても有効に移植・活用して緑地に配置することにより、地域の歴史・文化を将来へ継承していくことを考えています。なお、移植にあたっては、樹種や樹高及び樹勢、移植場所等を踏まえ、慎重に検討、実施します。
	緑の量に関して、21%と確保するとしているが、この地域は人工的ではあるが緑の多い地域であるので、できるだけ緑化率30%を確保できるようにしてください。	吹田市開発事業の手術等に関する条例では緑化面積として換算できない緑（太陽光パネル）について、みなし換算した緑化率を算出しました。（別紙5） 今後、目標緑化率（30%）に更に近づけるよう、広場内シンボルツリーや駐車場緑化などについても可能な限り努力すると共に、極力、人目につく場所に緑を配置したり、緑陰を創出するなど、質としての緑にも配慮するよう、実施設計で検討していきます。なお、本事業の緑化率21%は、類似の商業施設事例の中でトップクラスとなっております。（別紙6）
p515「将来的に緑に包まれた施設の景観となり、豊かな緑環境を備えた万博記念公園の一部として違和感のない施設になると予測した。」とはフォトモンタージュで示してください。また、将来的とはいつの時点を指すのか示してください。	敷地の周囲に高木を植栽した緑地帯を設け、緑に包まれた施設の景観とします。また、広場にはシンボルツリーを植栽し、緑を配置していきます。（別紙7、8） また、将来的とは、植栽後5～10年程度を想定しています。	

項目	質問	回答
景観	観覧車の高さはどのようにして決められましたか。近隣に吹田市のシンボルである太陽の塔があり、その高さ・大きさとの景観的影響を懸念します。	観覧車の高さは、施設のコンセプトである大阪のランドマークとなるエンターテインメントアトラクションにふさわしいものとして、国内最大級としました。太陽の塔との関係については、近景において、観覧車と太陽の塔が重なり合っ見える地点はありません。 (別紙9、10)
	観覧車の夜間イルミネーションについて、観察者が感じる影響、並びに、周囲に及ぼす影響を、定量的に示してください。	観覧車は、万博記念公園駅や公園東口駅ホームを除けば、周辺の住宅地等からはほとんど視認することができません。また、周辺住居から距離が離れており、照度（単位面積当たりの明るさ）は十分に減衰するものと考えられます。光度（単位立体角当たりの明るさ）についても、照明の向きに配慮し、周囲への影響を回避・低減します。これらのことから、周囲に及ぼす影響は小さいものと考えています。 (別紙11)
	外周道路の景観の変化をどのようにお考えでしょうか？フォトモンタージュを見る限り、現在の万博の森の景観が損なわれることを懸念します。	外周道路からの景観には特に配慮し、沿道に高木を植栽した緑地帯を設けると共に、建物を沿道から遠ざけて配置する計画としています。また樹種等については、万博の景観にふさわしい多様な樹種の組み合わせを検討し、今後、景観アドバイザー会議で確認頂きます。
	近景において観覧車と太陽の塔が重なり合っ見える地点はあるのか。また重なり合っ見える場合のフォトモンタージュを作成してください。	太陽の塔との関係については、近景において、観覧車と太陽の塔が重なり合っ見える地点はありません。 (別紙9、10)
	オーバブリッジの景観について外周道路から数か所のフォトモンタージュを作成してください。	オーバブリッジについては、現在、構造や視距等について関係機関と協議中です。また、今後、景観アドバイザー会議において、デザインや見え方について協議を行っていくものと考えられます。そのため、現時点ではフォトモンタージュの作成は考えていません。 (別紙12)
	スタジアムとの合成についてフォトモンタージュを作成してください。	地点1（万博記念公園駅）及び地点4（千里丘北）について、スタジアムとの合成のフォトモンタージュを作成しました。 (別紙13)
	広告についてのイメージを明らかにし、フォトモンタージュを作成してください。	広告については、テナントが決まってからの検討となり、現時点では詳細が決まっていません。そのため、フォトモンタージュは作成できません。事後評価での対応とさせていただきます。

項目	質問	回答
景観	建物における夜間照明のイメージのフォトモンタージュを作成してください。	夜間照明のイメージのフォトモンタージュは、評価書案P.530、532、534に示すとおりです。これより詳細なフォトモンタージュは、上記同様、テナントが決まってからの検討となり、現時点では作成できません。事後評価での対応とさせていただきます。 (別紙14)
動物	敷地内でシギとコチドリが繁殖しているとの調査結果でした。開発すれば当然繁殖地は失われます。これは致し方ないと思いますが、評価書案では「他にも繁殖地があるので大きな影響はない」という記載でした。この点、他の周辺の繁殖地について、具体的に記載してください。(敷地内繁殖地が消滅することが大きな影響はないとする根拠を明確化するためです)。またあわせて、工事施工時期が繁殖期間にかからない配慮(敷地内での最後の繁殖になると思いますが)ができるのであれば、そのことも記載してください。	ケリは田、畦、河川敷、荒地など、コチドリは河川や埋立地の砂礫地などに産卵する事例が多い種です。事業計画地周辺では、淀川河川敷に同様の産卵環境が存在しています。工事施工時期の配慮については、今後、実施設計において工事スケジュールが明確になった段階で、時期や施工場所、工種等の配慮が可能であれば、検討していきます。
	開発によって現在の植栽樹木はどうなるのか、すべて撤去して、完全に新たに植栽を進めていけるのか、そのあたりが読み取れませんでした。また新たに植栽をされる場合の樹種選定の基準なども、もう少し具体的に記載してください。	既存樹木については、潜在自然植生を考慮するとともに、各樹木の活力度・樹勢等で選定したものを移植活用していきます。植栽樹種は、常緑広葉樹を中心に考えていますが、今後、実施設計の段階で具体的に決定していきます。 (別紙15)
	特定外来生物のオオキンケイギク、ナルトサワギクが生えています。供用後においては、極力敷地内から排除してください。	供用後に敷地内で特定外来生物が確認された場合は、植生管理の中で定期的に刈り取りをするなど、極力排除するようにします。
交通安全	供用後、往来する歩行者及び自転車と車の動線が交差増加するため、通行の安全が確保されるよう、具体的な方策を検討してください。	特異日など、来客(車両)数が多くなる時には、交通整理員を適宜配置し、通行の安全を図っていきます。
交通混雑	P626 中央環状線側道へ直接OUTする自動車交通の安全対策は、もし信号で制御するならば交通シミュレーションに反映しているか示してください。	中央環状線側道への直接OUTは、信号制御は行いません。現在、大阪府警・吹田警察と協議していますが、東側からの側道通行車両に対する見通しを確保するとともに、当該出口は道路区域であることから、一旦停止を設定することで安全確保を行います。
	P629 各方面からの来訪自動車への誘導方法は、特に事業地外になりますが、外周道路、中央環状線などの道路サインのデザインと位置を示してください。また、関係者との協議中かもしませんが方針について示してください。	道路サインのデザイン及び位置は、現在、道路管理者や交通管理者等の関係機関と協議中です。 (別紙16)

項目	質問	回答
	<p>スタジアム試合時にスタジアム観客者が当該駐車場を使用しないようにする対策を示してください。</p>	<p>ららぽーと甲子園では、野球開始2時間後以降に、3時間を超え出庫精算された駐車は、特別料金の対象（館内に設置の「特別駐車料金ゼロシステム」にて磁気処理をされた場合を除く）とするなどの対策を行っています。本事業でも同様なシステムの導入も含め、今後、双方の関係者で協議・検討を進めていくつもりです。</p>
	<p>雨天時の交通量の増加について、他事例から平日、休日及び得意日の増加率及び交通量の増加を調査し、どの時期に雨が降れば、予測している交通量より増加するのか示してください。</p>	<p>2011年度におけるららぽーと甲子園の天候別集客数及び入庫台数を整理・比較しました。その結果、本事業の平均的な日・祝の雨天時における入庫台数は6.6%（904台/日）増加するものを推計されますが、自然文化園の雨天時平均の入庫車両台数は1,008台/日の減少となっており、周辺交通への影響は小さいものと考えられます。（別紙17）</p>
	<p>公園南口での交通渋滞状況を示してください。</p>	<p>公園南口での交通渋滞状況は、交差点需要率及び動的シミュレーションにて、交通処理上問題ないことを検証済みです。</p>
<p>交通混雑</p>	<p>万国橋付近の交通渋滞時の誘導及び高さ制限について示してください。</p>	<p>交通整理員の配置（入庫レーンのゼブラ帯など）や誘導看板の設置により誘導する計画です。具体的な内容については、今後、道路管理者や交通管理者と協議の上、検討していきます。</p>
	<p>車場入口内のチケット発券場で渋滞が発生し、その影響で敷地に渋滞列が伸びるおそれがあるため、各入口のチケット発券場及び数を図に示し、その根拠、妥当性を定量的に示してください。</p>	<p>大店立地法指針より、発券ゲートの処理能力は8秒/台・基=450台/時・基であり、入口1箇所あたり2基以上を設置することから、450台/時・基×2基=900台/時>688台/時（1600台×43%）となり、敷地外へ滞留が生じることはないと考えています。（動的シミュレーションでは、12秒/台・基=300台/時・基で検証） また、各入口から発券ゲートまで、万国橋IN418m（46台）、外周右折IN118m・120m（13台×2）、外周左折IN243m（27台）、公園南IN343m（38台）の滞留長を確保します。（別紙18）</p>
	<p>エリア全体の交通対策の最適化について具体的に示してください。（例デジタルサイレーン）</p>	<p>エリア全体でみた場合、特に公園混雑期は、現況でも駐車場満車に伴う外周道路の渋滞が著しく、本事業だけでの課題ではないため、5者連絡協議会等でエリア全体の自動車対策の検討・調整をお願いしたいと考えています。</p>

項目	質問	回答
交通混雑	開業時の大混雑時の対応について具体的に示してください。	<p>開業時の対応については、道路管理者や交通管理者等と十分協議させて頂き、交通整理員の配置や誘導看板の設置等により誘導を図っていきます。</p> <p>駐車場については、パークアンドライド駐車場の確保、公園内の他駐車場との連携についても検討してまいります。</p> <p>また、事前周知や館内放送などにより渋滞状況の周知を行ってまいります。</p>
	混雑時の緊急車両の対応について具体的に示してください。	<p>緊急車両の通行可否については、道路管理者、警察、消防署に確認しましたが、一般車両が端に寄ることで通行可との見解を頂いています。</p>
その他	スタジアムとの連携のため入場ゲートを設置してください。	<p>スタジアム南ルートの途中からの歩行者入口については、多人数の通行について、下記の危険性が懸念されるため、駅前広場に降りて頂いて施設のメインゲートから入場頂く動線を設定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①荷捌き側（施設の裏側）に入ることになり、荷捌き車両と来客者が交錯する ②南ルート側面の非改変区域は急斜面であり、階段・デッキのいずれも現実的でない ③南ルート（既存の階段）部でのエキスポ跡地への分岐は歩行者の混雑をもたらす恐れがある（別紙19） <p>以上を踏まえた上で、更なる可能性について、今後、検討してまいります。</p>
	スタジアム試合時に観客者の安全な歩行経路の確保方法を含め、歩行者の安全対策としてエリア全体の最適について示してください。（南ルートの整備拡幅）	<p>南ルートについては、チケット売場の撤去は万博機構との間で実施することが決まっていますが、フェンスの撤去・拡幅については具体的に決まっておらず、また当該地は事業者の借地外であり、今後の協議が必要です。</p> <p>しかし、吹田市、スタジアム建設事業者からも正式に協力要請を受けていることから、一つの大きな地域への貢献策として、フェンスの撤去・拡幅を実施するべく万博機構と協議してまいります。</p>